

【高等部の学習の様子⑳】

高等部2年生の家庭科では、「私たちの食生活『日常食の調理』」について学んでいます。

この学習では、基礎的な日常食の調理について、用途に応じて食品の選択をしたり、材料に適した加熱調理の仕方等について理解したりすることを通して、基礎的な日常食の調理が適切にできる力を育むことを目指しています。

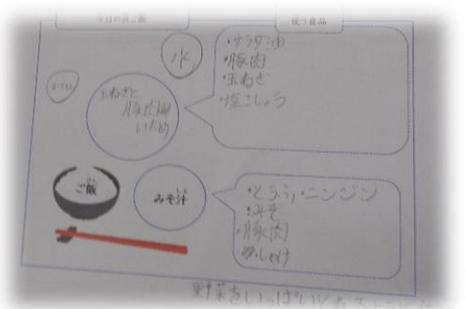
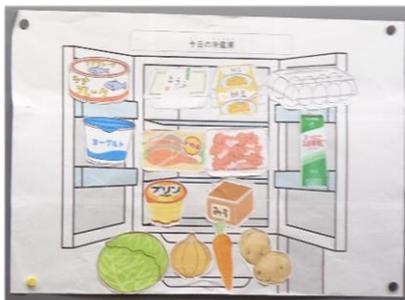
「今日の夜ご飯は何を食べますか。」という教師からの質問に、生徒たちは、最初は好きな食べ物を話していましたが、「働いて家に帰ると疲れて、買い物に行くのは面倒くさい。」と、実際の生活や自分の卒業後について想像を膨らませ始め、

「冷蔵庫のあるもので食べよっかな。」

「じっくり考えず、冷蔵庫を見て（食材選択と調理の仕方について）手軽に考える。」

と、普段の夜ご飯のことにについて考えを広げていきました。

そこで、教師から「今日の夜ご飯を考えよう」を提示され、実際の冷蔵庫の中身から、どの食材を使って、どんな料理をして食べるのかを考えました。



【冷蔵庫の食材から、食品を選択し、調理方法を考える様子】



それぞれの生徒が、前の単元「必要な栄養を満たす食事」で学んだ内容も活用しながら、栄養バランスも考え、食材の選択や調理の仕方考えることもできました。

冷蔵庫の材料は同じでも、生徒の数だけ選択する食材や調理の仕方が違うことに、友達と見せ合いながら楽しむ様子もありました。

いつものご飯のことを「日常食」であることを学習から実感し、卒業後の生活もイメージしながら学びを深める姿が多く見られました。

また、「家に帰ったら、冷蔵庫開けて、何作るかを考える。」とさっそく考える等、家庭科のねらいにある、自分の生活につなげようとする実践的な態度を育むことができました。